一般社団法人　京都わかくさねっと
２０２１年度事業報告
（２０２１年４月１日から２０２２年３月３１日まで）

１．概要

新型コロナウイルスの感染拡大が長期化し、少女の社会的孤立や貧困、暴力被害が深刻化するなか、「支援に繋がっていない少女をネットワークに繋ぐ」当法人の活動は、社会の中で重要な役割を果たした１年でした。

児童自立援助ホームやホテルと連携した少女の居場所「わかくさカフェ」を５カ所に増設。それに加え繁華街や地域からの要請でのわかくさカフェ出張版や、深夜のアウトリーチ等、さまざまな試みを行ない、SOS が届いていない幅広い層へ積極的にアプローチを行いました。

寄り添い支援では、保護観察対象者の寄り添いや、他団体や行政からの依頼を受けた少女の短期宿泊を提供し、支援のニーズに繋ぎました。コロナ禍で処遇の困難な少女が増える現状を、さまざまな団体と連携し、少女たちが複数の居場所や支援者間を行き来することでパイプを太くし、支援者がネットワークを組んで見守る試みもなされました。

２０２１年度は法人のトピックスの年でもありました。休眠預金事業に採択され、念願の常設の居場所「わかくさリビング」を開設することができました。さまざまな困難や試行錯誤を経て、「少女たちが主体となって運営する」「支援や相談場所ではない居場所」という方向性を固め、少女２名が代表となり組織の再編をしました。

一方で居場所づくりの活動は、個人的センシティブな問題が多く、支援する側の精神的負担も大きいことや、活動の認知度の高まりに準じてニーズが顕在化していく中で、重症度の高いニーズに対応するための専門的かつ安定的スキルが求められることがわかりました。従来のボランティアを主とする活動ではなく、組織化仕組化の重要性と緊急度を実感し、早急に対応を進めることとなりました。

<u>2021 年度活動事業</u>

・休眠預金　新型コロナウイルス対応緊急支援助成事業
「少女の避難基地と夢を育てる事業」（資金分配団体：信頼資本財団）
・京都市生きづらさを抱える若年者の居場所づくり等支援事業
「つながる・よりそう・そだてる事業」
・左京区まちづくり活動支援事業「わかくさカフェ左京区事業」
・上京区民まちづくり活動支援事業「少女の避難基地わかくさカフェ上京区事業」
・みなみ力で頑張る！区民応援事業「少女の居場所わかくさカフェ南区事業」
・京都府女性活躍応援事業
「参加型ディスカッションと少女展―コロナ禍の生きづらさと居場所づくり」

・京都府地域交響プロジェクト「少女の繋がりの場づくりと地域での包摂支援事業」
・読売光と愛の事業団子ども育成支援事業
・赤い羽根「いのちをつなぐ支援活動を応援！～支える人を支えよう～」

2021 年度活動回数
　２１０回（わかくさリビング７８日、カフェ１２６日、アウトリーチ他１３日）
・わかくさに繋がった少女　延べ８９６名
・関わったスタッフ（少女スタッフ含む）延べ７８６名
・NINIROOM 日帰り部屋利用　　４５名
・NINIROOM 宿泊利用　　１８日
・寄り添い支援　対応時間　２７９時間

２．事業実施内容
２－１　少女の避難基地と夢を育てる事業（わかくさリビング事業）
　地域のなかに安全な居場所をつくり、少女が安心して話をできる環境と食事の提供を行なった。
①準備期間　ワークの実施４回、会議 5 回、DIY、掃除、インテリア
②第１期（京都市中京区六角猪熊町町家）
　期間：2021.10.1～2021.12.26　（計 52 日間）
　来所少女：214 人
　全体参加者：402 人
③第 2 期（京都市上京区相国寺門前町烏丸ビル）
　期間：2022.2.1～2022.3.31　（計 26 日間）
　来所少女：149 人
　全体参加者：229 人
④スタッフへのケア・相談・寄り添い
・専属コーチング　毎月 2 回、スタッフまたは希望する来所者への個人コーチングを行なった。（計 10 回実施）
・専属カウンセリング　来所者との関わりにおいて相談等を行なった（3 ヶ月間）
⑤参加型体験講座、ワークショップ等【京都市事業】
・ヨガ教室　回数：3 回、講師：永谷美奈氏、
・和菓子作り教室　回数：2 回、講師：祇園鳴海屋、
・よんさんの木工講座　回数：5 回、講師：李よんひ、

２－２　わかくさカフェ事業
　地域の団体や企業と連携し、少女の居場所「わかくさカフェ」を開設した。
①京都 YWCA カルーナ【上京区事業】【京都府地域交響 PRJ】
　自立援助ホームと連携し、調理、昼食、ワーク・体験の他、お誕生会や話し合い等を

実施した。集団生活に馴染めない少女や配慮の必要な少女に対しては手芸等の作業をする場を別途つくり、少女の自己肯定感を育んだ。また YWCA の入所者計 6 名に振袖の着付等を通してお祝いに参加した。

・わかくさカフェ　回数： 19 回、参加少女：106 名、全参加者：220 名

・ちくちくカフェ（手芸教室）　回数：7 回、

・入所者への支援　成人式着付およびお祝い 2 回　計 6 名　着付、ヘアセット、撮影、アルバム作成

・YWCA 主催イベント「あっち側の彼女、こっち側の私― 出版記念トークイベント」参加

②hostelNINIROOM【2, 4 火曜/左京区事業】【1,3,5 火曜/京都市事業】【地域交響 PRJ】

ホステルと連携。毎週火曜日の居場所の実施とおひるねと食事の提供（毎日対応）

・月に 2～3 回は茶道や生け花、着付等の体験や、心理ワーク等の勉強会を実施。少女たちが自主的に取り組む場としても展開した。

・4／1～3／31　計 52 会開催　少女参加者 201 名、参加者計 526 名

・わかくさねっとの相談窓口として NINIROOM を活用。来所した少女たちの相談に対して、相談員を配備、ネットワークに繋ぐ等の対応をおこなった。

・相談対応時間　114 時間　対応に関わったスタッフ延べ数　29 名

③happiness*café【南区事業】【地域交響 PRJ】

主に地域の中学生を対象に、調理実習や学習支援、手芸お菓子作り体験、アンガーマネージメント講習など、さまざまな体験から､少女たちの達成感を得ることで自己肯定感を上げた。また、専属の社会福祉士を配置し、受験期の少女たちの悩みに寄り添った。

・活動回数：38 回　参加者：120 名、スタッフ（大学生含）117 名

④京都市南青少年活動センター【南区事業】【地域交響 PRJ】

青少年活動センターから、ひきこもりの少女たちの居場所を作りたいとの相談があり、7 月より実施。センターに繋がっている少女や来所者との交流や支援の場となった。食事の提供は南地区更生保護女性会が担当した。

・活動回数 14 回　参加者：82 名、スタッフ 48 名、南地区更生保護女性会会員

⑤亀岡わかくさねっと

連携団体。毎月第 4 日曜日に居場所を開催した。

２－３　寄り添い支援【京都市事業】

①まちの保健室事業（講座）

わかくさリビングにて、専門家による勉強会を行なった。公開講座、京都自死・自殺相談センターの「死にたいと言われたときの対応について」、富山の宮田さんの「一軒家開けて「誰でもきていいよ」って言ったらいろんな人がきた～」は、関心のある人が多く訪れた。その他の勉強会は、新型コロナ感染症や近隣への配慮のため限定での公開。またスタッフが支援のスキルを学ぶための研修も 8 回開催した。

・開催回数 13 回　参加者 133 名

②まちの保健室事業（寄り添い）

・リビング来所者への相談対応　75 時間　関わったスタッフ延べ数　17 名

・保護観察対象者への寄り添い　90 時間　関わったスタッフ延べ数　34 名

２－４　支援物資・補助等

収入がなくても、少女たちが来所して繋がるために、往復交通費の支給やランチの提供、簡単な作業の報酬を提供した。また NINIROOM の昼間の開放では、夜間に十分に寝られない少女の休息や勉強の場として、夜間は短期シェルターの機能として活用した。

・来所少女への往復交通費支給（上限 1000 円）　616 名　【読売福祉基金】

・NINIROOM のランチ提供　233 名　【休眠預金】【読売福祉基金】

・NINIROOM 日帰り利用　45 名　【京都市事業】【京都府地域交響 PRJ】

・NINIROOM 宿泊利用　18 名　【京都市事業】【京都府地域交響 PRJ】

・お手伝い謝金（800～4800 円）157 名　【休眠預金】

２―５　先進的な支援事業【京都市事業】

少女と繋がるアウトリーチ活動

行政等の相談窓口や支援に繋がらず、また自身の置かれている状況が分からず街を徘徊している少女に対して、まちに出かけて少女たちに直接繋がり、情報、食事、関係性の提供を行なった。また、問題を抱えている少女たちがいる場所で居場所を開放し、少女たちの話を聞き、同世代の少女との交流や専門家による相談等の機会を提供した。

①繁華街の巡回

対象：繁華街をさまよっている少女、SNS 等でつながっている少女

場所：京都市内の繁華街（木屋町、四条河原町、新京極界隈）

回数：３日間　（６回）

内容：３～４人がチームになって、道路、ビル等の入口、ゲームセンター、ファストフード店等を見回り、当てもなく歩いている少女に対して声かけを行なった。

※第１回目は、京都市ユースサービス協会と共同実施

※中京警察署生活安全課、木屋町派出所には、事前に相談

※第３回～６回は、事前に研修を行ない保護司同行のもと巡回した。

②わかくさカフェ出張版@木屋町

日時：３月２８日（月）19：30～23：00

場所：エルコヨーテ（El　Coyote）中京区南車屋町 280-1　キャニオンテラス 4 階

対象：少女（１０代～３０代）

来所者：１９名（スタッフ含む）

③京都市山科青少年活動センターでのアウトリーチ

日時：2022 年 3 月 19 日（土）17：00～19：00
場所：京都市山科青少年活動センター
来所者：８名（18～30 歳の悩みを持つ若者 4 名、）
スタッフ：６名
内容：・ギター伴奏で唄を歌う、カードゲーム、お悩み相談会
※山科地区更生保護女性会と連携

２－６　講演・普及啓発

①京都市ユースサービズ協会との共同事業
・『夜のユースセンターモデル事業』の中間報告会 2021
日時・場所　11 月 14 日（日）　14 時～16 時　＠オンライン
・「若者と一緒につくる場の可能性」共同報告会【京都府男女共同参画事業】
日時　３月１５日（火）１８：３０～２０：００
場所　アンデパンダン（中京区）

②京都わかくさねっと活動展【京都府男女共同参画事業】
「少女の居場所をつくったら家族ができた展」
日時　３月２０日～２２日　９：００～１７：００
場所　ウイングス京都ギャラリー

③市縁堂 2021 出展
日時　１２月１８日（土）１３：００～１６：００
場所　「ひと・まち交流館　京都」　2F　大会議室
内容　プレゼンテーション、ブース出展

④みんなで学ぼう SDGｓ
日時　1 月 8 日（土）9 日（日）１０：００～１６：００
場所　イオンモール桂川
内容　ブースにて活動紹介、交流

⑤バザールフィエスタ 2021
日時　１１月２３日（火祝）１３：００～１５：３０
場所　京都バザールカフェ
内容　活動発表、ワークショップ参加

⑥光華女子大学授業提供「ボランティア論」
日時　６月１６日　ZOOM オンライン　１０６名
内容　京都わかくさねっとの活動について

⑦左京保護司会叡麓地区ミニ集会「少女たちのいま」【左京区事業】
日時　７月２５日　１６：００～１８：００
場所　京都市立上高野小学校

⑧PTA での研修会（上京地区）【上京区事業】
日時　６月１６日

場所　中立会館

⑨上京区小川学区民生委員勉強会【上京区事業】

日時　１１月２７日

⑩幸せについての講演会　川村妙慶さん【上京区事業】

日時・場所　１２月１日　興聖寺（上京区）

⑪困難な少女の処遇についての勉強会【上京区事業】

日時・場所　１２月１７日　上京保護司サポートセンター

⑫南地区更生保護女性会研修会【南区事業】

「わかくさねっと説明と少女の話を聞く」

日時・場所　１月２４日　南区社協会館

⑬南丹地区保護司会・更生保護女性会「合同研修会」での講演

「少女支援について」

日時・場所　１１月

２－７　情報発信・広報

①メディア掲載等

・京都新聞「福祉のページーわたしの現場」(2021.4.)

・市民しんぶん（京都市）(2021.7.1)

・読売新聞「きょう・人・十色」(2021.8.)

・京都新聞「」

②発行物

・わかくさだより vol.2

・新リーフレット

・少女制作冊子「わかくさリビング活動報告」「いま背中を押して欲しいあなたへ」

・少女イラスト入り年賀状

・名刺、看板、封筒等

・わかくさ活動報告書（報告展配布物）

③SNS、HP 等

・HP リニューアル

・Facebook ページへのリーチ 9654、アクセス 3254、新規イイね 56

・Instagram ページへのリーチ 5848、アクセス 2515、新規フォロワー47

④クラウドファンディング

・京都地域創造基金プロジェクト「少女の居場所・わかくさリビングをつくりたい」

2022 年 3 月 22 日～2023 年 3 月 31 日

目標金額　5,000,000 円

２－８　会議等

①信頼資本財団関係

・６／４オリエンテーション　ZOOM
・７／８　１４：００～１５：００　進捗状況報告会
・８／８　１４：００～１５：００　進捗状況報告会
・９／２　１４：００～１５：００　進捗状況報告会
・１０／７　１４：００～１５：００　進捗状況報告会
・１１／４　１４：００～１５：００　進捗状況報告会
・１１／６　１３：３０～　信頼デイ出席　活動報告
・１２／２　１４：００～１５：００　進捗状況報告会
・１／６　　１４：００～１５：００　進捗状況報告会
・２／３　　１４：００～１５：００　進捗状況報告会
・３／２０　１３：００～　活動報告会

②法人理事会
・８／２１　理事会
・９／２１、２３　ミーティング ZOOM
・１０／２３　住民説明会
・１１／１４　理事会　ZOOM
・１１／３０　理事会　ZOOM
・１２／１５　理事会　ZOOM